

音楽科

「あつまれ おんがく なかま」

葉山町立一色小学校



単元（題材）目標

- 拍の流れや曲の気分を感じ取り、体を動かしながら楽しく歌う。

(1) 実施時期 1月

(2) 対象（学年等・人数） 第2学年2組 29名

(3) 指導者（教諭・外部講師等） 音楽専科教諭



(4) 実施内容

- 「さんぽ」の拍の流れや曲の気分を感じ取り、行進したり手拍子を打ったりするなど、体を動かしながら歌う。
- 手話を使って歌う。
 - ・ 手話は、手を使って考えや気持ちを伝える「ことば」であることを知る。
 - ・ 歌詞の言葉を手話で表す。
 - ・ チームに分かれ、見合う。よく伝わってきた表現などを伝え合う。



(5) 成果

はじめは、歌詞の言葉一つひとつの手話にとらわれがちだった。しかし、フレーズごとに、リズムや旋律の流れにのせて手を動かし歌っていくうちに、次のような変化が見られた。

- ・ 歌詞「くさっぱら」の「草の生えている様子が広がる」という手話を、大きく広がっていくような動作で生き生きと表現をするようになる。
- ・ 歌詞「くだり道」の手話を、旋律のもつ勢いにのせて表現するようになる。
- ・ 歌詞「くもの巣くぐって」の友だちの表現を見て「すごく、くぐっていく感じがしてよかった。」という児童の発言が多く聞かれた。なにげなく歌っていた歌詞が手話によってイメージしやすくなり、そのイメージが共有され、より楽しい表情で歌うようになった。

手話で歌う学習を通して、各々の言葉に対応する手の動きができるようになるだけでなく、手に気持ちを込め「伝える」という表現力が育まれた。